



新屋図書館だより

発行：秋田市立新屋図書館

秋田市新屋大川町 12-26 ☎ 018-828-4215

<https://www.city.akita.lg.jp/kurashi/shakai-shogai/1008469/1008848>

No. 236

R3. 9月号

新屋図書館の立ち入り制限について

空調設備改修工事のため、下記の期間、一部館内への立ち入りできません。

※図書館の通常再開は、令和4年1月5日（水）の予定です。

1 10月1日（金）から10月31日（日）まで（倉庫棟への立ち入り不可）

できること	できないこと
<ul style="list-style-type: none"> ● 本館の通常利用 ● 他の市立図書館の予約本の受け取り ● かぞくぶっくぱっくなどの貸出し ● 資料の返却 	<ul style="list-style-type: none"> ● 倉庫棟の資料の検索・予約 ● 倉庫棟の資料の閲覧・貸出し ● 倉庫棟の学習機の利用

2 11月1日（月）から12月末日まで（本館と倉庫棟への立ち入り不可）

できること	できないこと
<ul style="list-style-type: none"> ● 他の市立図書館の予約本の受け取り ● かぞくぶっくぱっくなどの貸出し ● 資料の返却 	<ul style="list-style-type: none"> ● 本館・倉庫棟の資料の検索・予約 ● 本館・倉庫棟の資料の閲覧・貸出し ● 本館・倉庫棟の学習機の利用 ● ビデオ・DVD・CDの利用 ● インターネット用パソコンの利用

- 常設又は仮設カウンターで貸出しなどを行います。
- 開館時間や休館日に変更はありません。
- 移動図書館イソップ号が特別巡回します。
- 倉庫棟照明設備の更新工事もこの期間に併せて実施します。

くわしくは、館内ポスターやホームページをご確認ください。

その他、ご不明な点がありましたら、職員へおたずねください。

ご不便をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。

新刊案内

ニッポン男性アイドル史 一九六〇―二〇一〇年代

太田 省一／著

青弓社 請求記号 767.8 (芸能)

1960年生まれの社会学者が、男性アイドルの歴史を60年間たどり直します。ジャニーズを軸として、フォーリーブス、新御三家からS MAP、キンプリ、歌わないアイドル生田斗真、風間俊介まで網羅し、年齢に関係なく終わりが無い男性アイドルの存在を考察します。



二百年前に象潟で起きたこと

今井 健太郎／編

秋田文化出版 請求記号 A453.21 (地震学)

1804年に発生した象潟地震によって土地が隆起し、松尾芭蕉が見た象潟の景色とは一変しました。同書は歴史的資料、地層、地形などから、津波被害について当時の様子を想像することができます。今後の防災、減災に役立つのではないのでしょうか。



ぼくにはこれしかなかった。

早坂 大輔／著

木楽舎 請求記号 024.06 (書店)

著者が疲弊する毎日に疑問を抱き、40歳過ぎて脱サラを決意！「笑われても構わない」と思いながら始めたのは、「BOOKNERD」(=本オタク)という名の小さな町の本屋でした。人との出会いを通じて成長する本屋と著者とその家族についての物語です。

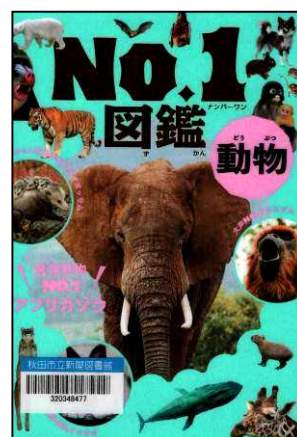


No.1 図鑑 動物

藤原 尚太郎／監修

文響社 請求記号 489 (哺乳類) ※小学3年生ころから

「背の高さ」、「角の大きさ」、「かむ力」など、いろいろなジャンルでNo.1の動物を知ることができる本です。「ここだけのヒソヒソ話」として面白い情報や豆知識も載っているので、楽しみながら動物について詳しくなれますよ。



図書館員（飯野 敏）のおすすめ本

書名	農業高校へ行こう！
著者名	全国農業高等学校長協会／監修
出版社	家の光協会
所蔵	新屋、明德、イソップ、河辺 請求記号 376.41（高等学校）



「農業高校」と聞いて皆さんは何を思い浮かべるでしょうか。

「農業のことを勉強しているのだろう」と臆気には分かりますが、外部の人は詳しく知らないのではないのでしょうか。

そんな農業高校の知られざる面を紹介してくれるのが、この本です。

全国の農業高校生が園芸、醸造、食品加工、

畜産、林業など様々な分野へ彼らの新しい視点から邁進する姿は実に頼もしいものです。

巻頭のインタビューでは「日本一有名な農業高校」として金足農業高校野球部の中泉監督が野球、農業、地域貢献について述べています。

皆さんもこの本を読んで、金足農業高校の生徒をはじめこれから日本の食を支える若者たちの活躍を期待してみませんか？

図書館員（長井 友希）のおすすめ本

書名	ゴミ清掃員の日常
著者名	滝沢 秀一／原作・構成、滝沢 友紀／まんが
出版社	講談社
所蔵	新屋 請求記号 518.54（清掃業）



著者はお笑い芸人マシンガンズの滝沢さん。しかしお笑い芸人だけでは妻と2人の子どもを養うことが難しく、知人の紹介でゴミ清掃員を兼業することになった日常が描かれています。

迷惑なゴミの出し方や正しい分別方法、さらには「神ゴミ」と呼ばれるものまでをユーモアたっぷりに紹介しています。「本当にこんなゴミの出し方をする人がいるの!？」と驚愕する

こともしばしば。ゴミ清掃員の涙ぐましい日々の努力に読後は尊敬の念を抱かずにはいられません。ペットボトルは必ずラベルとキャップを外してから捨てようと改めて思いました…！

毎日発生させているにも関わらず、ゴミやその裏側について初めて知ることが多かった1冊。みなさんもこれをきっかけに「神ゴミ」を目指してみてもいいでしょうか？

記事になったお酒の話題あれこれ…技術を磨く…

秋田県酒造組合と県醸造試験場は、2012年より県内の酒造生産者を集め「利き酒実習」を実施しています。利き酒の能力を習得し、高品質な清酒製造につなげることが目的で、毎年秋田市内のホテルに生産者を集め、醸造試験場の担当者が対面で指導していましたが、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、昨年では中止となっていました。

今年は、「日本酒の香りについて解説したDVD」と「香りや清酒のサンプル」を用意し、各蔵ごとに分散開催されるとのことです。酒類提供の制限・会食の自粛など酒造業界に向かい風が吹くなか、それでも努力を続け、技術の向上を目指す姿には頭が下がります。

新屋は、醸造の街。
新屋図書館には、酒の
資料コーナーがあります。

【参考資料】

秋田魁新報 電子版
2021年8月5日掲載

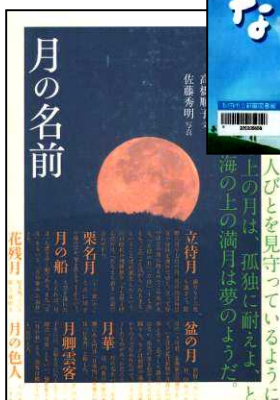
今、あなたへ…9月の空を眺める…



夏から秋にかけて雲は大きく移り変わります。雲の形を見て、あれは犬、あれは魚、なんて言いながら、気付くとすっかり秋だなあとしみじみ。

『あのかくもななに?』は、富安陽子さんの優しい文章に山村浩二さんのくすっと笑っちゃう絵が可愛い絵本です。

今年の十五夜は9月21日。中秋の名月と満月が同じ日です。(※十五夜=満月とは限りません。) 21日の夜より20日の深夜の方がまんまるだとか。十五夜の前日は小望月(こもちづき)。佐藤秀明さんが写真、高橋順子さんが文を書いた『月の名前』を読んで、日本語の美しさを味わいながら秋の月夜を楽しむのもいいですね。



図書館員のひとりごと

学生時代に知り合い10年以上のつきあいの友人がいます。彼女は「明日仙台に行こう!」などと突然言い出す人で、フットワークが軽すぎる!と当時はよく笑ったものでした(行きました)。

卒業後、偶然互いに某グルメドラマにハマっていることを知り、「聖地巡礼」もしましたが行けたのはわずか数店。いつの日か必ず再開しようと約束しています。

そんな彼女と最後に会ったのは2年前の秋。その時は「一人でフィンランドに行く」と話していました。コロナ禍で断念したものの…やっぱりフットワーク軽すぎる! (佐藤)

志望校やなりたい職業も分からず、消去法で進路を決めてきた私の小さい頃からの夢がクイズ番組に出ることでした。幼稚園時代から、アニメよりもクイズが好き。瞬時に解答するプレーヤーたちにずっと憧れていました。

そんな私の夢を叶えてくれる長寿番組が今月最終回を迎えます。全国から一般視聴者を募集し、収録することが難しい時代なので、仕方がないとは思いますが、やはり寂しいです。もっともっと続いて欲しかった。

今後、視聴者参加型の番組が登場するかは分かりませんが、期待を込めて今からクイズ脳を鍛えておこうと思います。(石井さ)